

教職員養成・育成だより 第47号



これまでの「大学連携だより」を、第41号から「教職員養成・育成だより」として名称変更し、大学連携の情報に加え、教職員の研修等の様子についてもお伝えしています。

令和3年3月23日発行
横浜市教育委員会事務局 教職員育成課

令和3年度 教職員研修の方向性～校内における人材育成の推進

教職員育成課
課長 山本 朝彦



例年、年度末に実施してきた管理職対象の「研修説明会」ですが、コロナ禍で実施が難しいため、今年度は「説明動画」の配信を行います。動画では、管理職が自校での人材育成をより強く推進していくことができるようにするために、来年度、どのような研修が行われるのか、どのような目的で行っているのかについて説明しています。

令和3年度の研修についての基本的な考え方については、昨年度同様できるだけ悉皆研修を減らし、選択研修を充実させていきます。新型コロナウイルス感染症は研修の在り方を大きく変えました。今後の研修の形態は、場所や時間を選ばないeラーニングやZoomなどのオンライン研修と、集合し対面することでより効果が期待できる研修との組合せが中心になります。

次に、昨年度改訂した人材育成指標の基本的な考え方について説明します。教職員の人材育成や不祥事を防止するためには、自律した大人、自律した社会人を育てることが欠かせません。そこで、教職員一人ひとりが主体的に資質・能力を向上させるためのセルフマネジメントの考え方を大切にしていきます。

横浜市の教職員は数年後にはベテラン層の減少、経験が均一ではないミドル層の増加が見込まれ、今後は一層個々のニーズや成長に応じた研修機会の保障が必要となってきます。教職員にとって、研修はやらされるものではなく、勤務時間中に行える権利でもあり、教職員という仕事の資質を磨き続けるための義務でもあります。ぜひ、右ページに記載している新しくなった研修管理システム「Leaf（リーフ）」を活用して自己の資質能力を自己分析し、自己の課題や長所と向き合い、さらに学びたい力を自ら判断し、選択する経験を重ねていただければと思います。教職員育成課の研修も花咲研修室に集合して知識を伝達するだけではなく、各学校で行う研修のサポートや学校へ訪問しての相談機能の充実、各学校で行う研修の教材提供などに力を入れていきます。また、研修の報告書や資料についても簡素化し、ペーパーレスやICT端末の活用を進めていきます。それぞれの研修について、ご相談やご提案があれば、ぜひ教職員育成課までご連絡ください。

年度末のお忙しい中のお知らせ、お願いで恐縮ですが、それぞれの研修の内容や変更点、来年度の計画については、ぜひ今回の説明動画をご活用していただき、各学校の教職員へ周知をお願いいたします。

これからの横浜の教職員の育成は、各学校の研修と教育委員会事務局が共同で行っていくことが欠かせません。ぜひ、今回の趣旨をご理解いただき、教職員の育成に取り組んでいただければ幸いです。



「研修の申込み」「eラーニング」のシステムが変わります！

令和2年度は、用途により異なるシステムを使用していましたが、令和3年度からは、「①研修一覧を見る」「②研修の申込みを行う」「③eラーニングを見る」「④分析チャートを使う」の4つの機能がすべて一つのシステム「研修管理システム Leaf」上で行えるようになります。

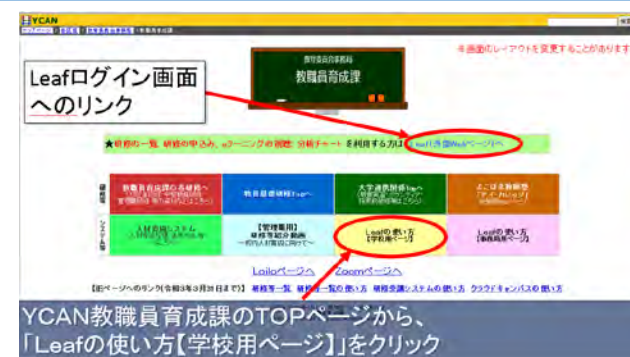


YCAN教職員育成課のトップページから

「研修管理システム Leaf」のログイン画面へリンクしたり、「Leaf」の使い方を見たりすることができます。

「Leafの使い方【学校用ページ】」をクリックすると、説明動画を視聴できます。

※「Leaf」は4月1日から利用できます。



★★★アイ・カレッジ コーナー★★★

緊急事態宣言下において、アイ・カレッジの活動も花咲研修室に集合して学ぶことはできませんでしたが、「どのような状況においても学びは止めない！」を合言葉に、塾生はZoomやロイロノート、eラーニングを活用しながら、教師を目指し、努力を続けています。

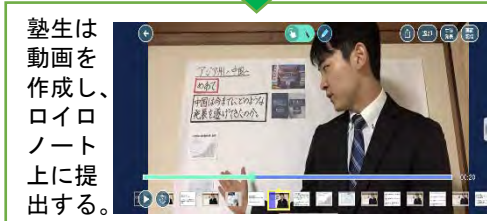
模擬授業も、集合し、対面して行うことはできません。しかし、右のようなステップで、授業動画を作成し、同じグループの塾生が事前に動画を視聴した上で、授業研究会を行いました。評価票をもとに、授業を視聴することで、目指す授業像を明確にして、討議することができました。また、ロイロノート上で授業を何度も視聴することができるので、「この塾生の導入の仕方は参考になるよ」「自分は中学校だけど、小学校を目指している塾生の授業を見ることができてよかった」といった情報を塾生間で共有し、学びを更に発展させることができました。

今学んでいる塾生が教壇に立って授業をする頃には、このようにICTを効果的に組み合わせ、活用することがあたりまえになっているかもしれません。対面で学べなかったからこそ、気付けたことも多くありました。

最後になりましたが、コロナ禍においてもアイ・カレッジ塾生を快く受け入れてくださり、充実した教師体験プログラム（KTP）を展開してくださった多くの受入れ校のみなさま、誠にありがとうございました。次号は、KTPで学ばせていただいたこと等の特集します。

塾生は、学習指導案を作成し、ロイロノート上に提出する。

指導教官・指導主事は学習指導案を添削し、塾生に返却する。



塾生・指導教官・指導主事は評価票に基づいてグループ分の動画を視聴する